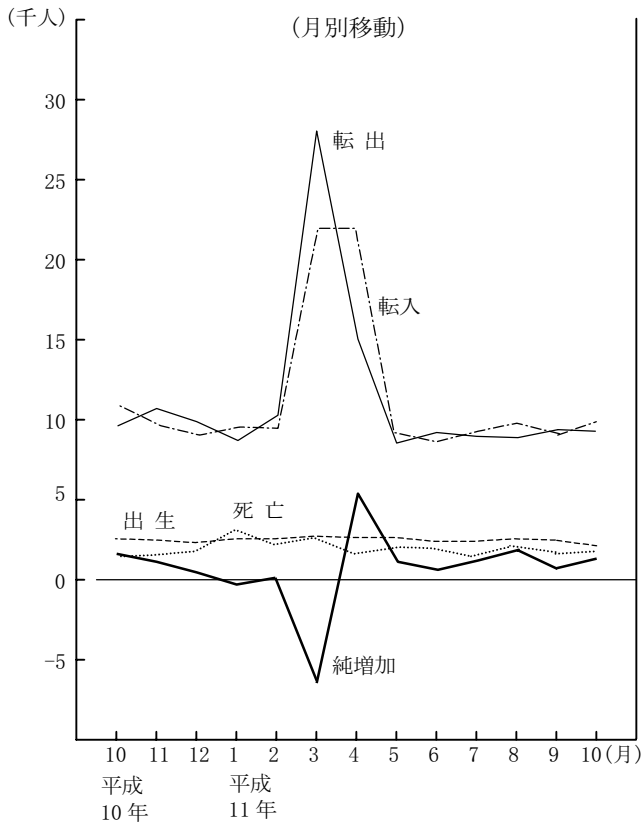


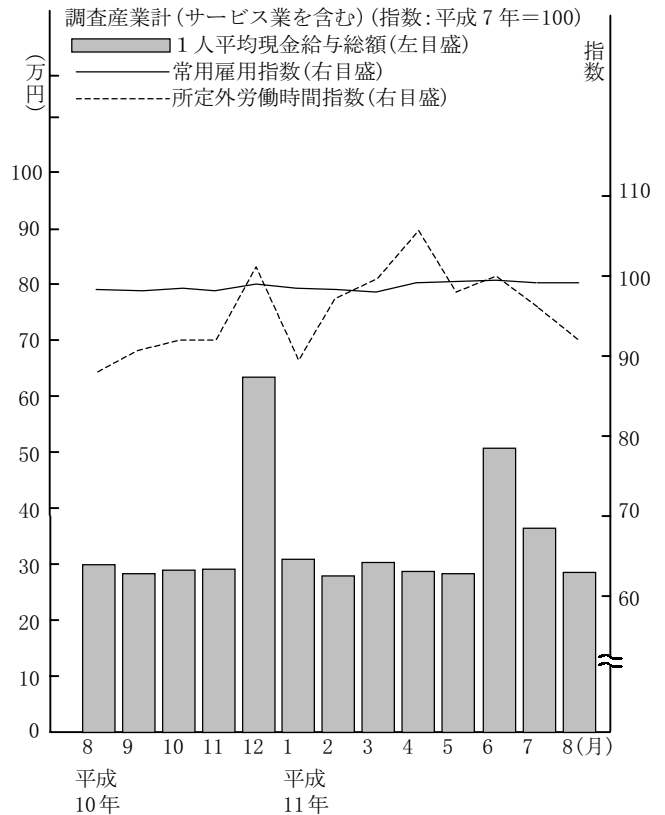
■今月の主な動き

今月の主な動き

人 口



賃金・労働時間・雇用



■人口 (11年11月1日)

10月の概況

本県の人口は、10月中に1,255人増加し、11月1日現在で**3,000,222人**(男1,497,579人、女1,502,643人)となった。

内訳は、自然動態で、539人(出生2,241人、死亡1,702人)増加し、社会動態で、716人(転入9,997人、転出9,281人)増加した。前年同月と比べると5,447人(0.2%)の増加である。

市町村別では、増加が16市39町村、減少が4市25町村、増減なしが1村である。

世帯数についても10月中に1,345世帯増加し、**987,598世帯**となった。

■賃金・労働時間・雇用 (11年8月)

1. 平均賃金の推移

8月の現金給与総額は、調査産業計で、**280,817円**、対前年同月比4.5%減であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は266,289円、対前年同月比1.9%減、特別に支払われた給与は、14,528円であった。

2. 労働時間

8月の総実労働時間は、調査産業計で、**145.1時間**、対前年同月比1.0%増であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は135.7時間、対前年同月比0.7%増であった。所定外労働時間は9.4時間、対前年同月比5.7%増であった。

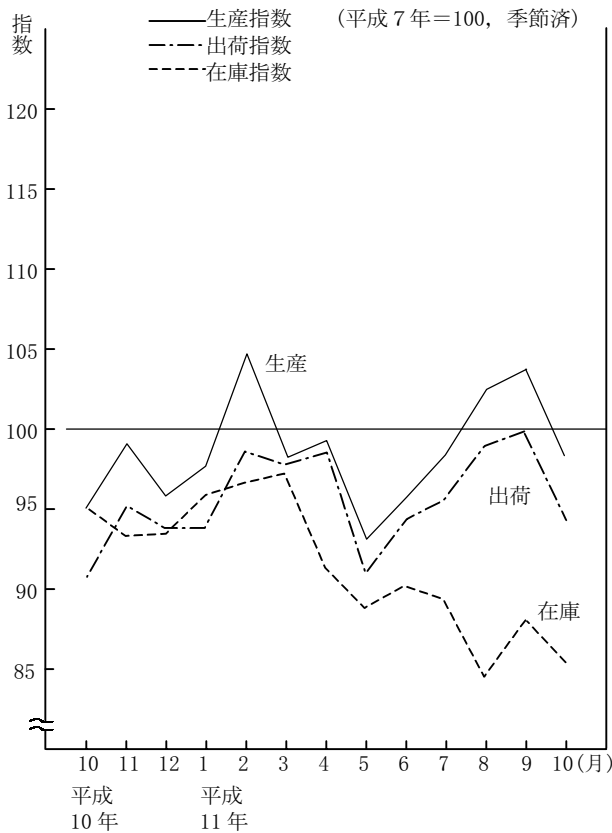
3. 雇用の動き

8月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

■ 鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

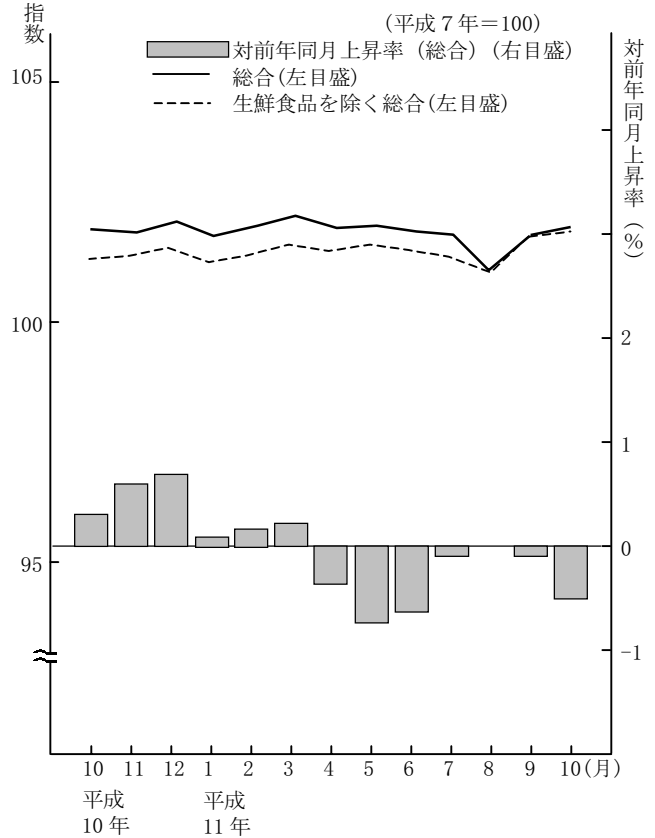


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（11年10月）

本県における平成11年10月の“鉱工業指数”（平成7年=100）は、季節調整済指数で、生産が97.4、出荷が94.4、在庫が85.9であった。

- 生産の前月比は△6.3%の低下、前年同月比は1.1%の上昇であった。業種別に前月比をみると、鉄鋼業が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、一般機械工業等が低下した。財別にみると、資本財、建設財等すべての財で低下した。
- 出荷の前月比は△5.4%の低下、前年同月比は2.0%の上昇であった。業種別に前月比をみると、鉱業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、電気機械工業等が低下した。財別にみると、資本財、耐久消費財等すべての財で低下した。
- 在庫の前月比は△2.3%の低下、前年同月比は△8.2%の低下であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、プラスチック製品工業、鉄鋼業等が上昇し、電気機械工業、石油・石炭製品工業、鉱業等が低下した。財別にみると、その他用生産財、鉱工業用生産財が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数



■ 消費者物価指数（11年10月）

平成11年10月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で102.0（平成7年=100）となり、対前月比は（+）0.2%の上昇、対前年同月比は（-）0.5%の下落となった。

- 今月の上がった主な項目・・・果物6.2%、
 シャツ・セーター・下着2.8%、
 保健医療用品・器具3.2%

今月の下がった主な項目 乳卵類（-）2.6%
 生鮮食品を除く総合は101.8となり、対前月比は（+）0.1%の上昇、対前年同月比は増減なしであった。

■ 費目別指数

（平成7年=100）

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	102.0	0.2	△0.5	保健医療	111.1	0.5	△0.8
食料	102.9	0.1	△1.4	交通通信	97.5	0.1	△0.2
住居	101.8	0.4	0.0	教育	108.4	0.0	0.9
光熱・水道	101.3	0.4	△0.7	教養娯楽	98.6	△0.1	△0.2
家具・家事用品	96.2	0.2	△0.4	諸雑費	102.6	△0.1	1.8
被服及び履物	108.7	1.0	△0.5	生鮮食品を除く総合	101.8	0.1	0.0